

A. 日時 2017年2月23日(木) 17時00分~18時50分

B. 場所 建築学会会議室

C. 出席者 佐久間哲哉(主査), 池上雅之, 稲留康一, 大嶋拓也, 岡野利行, 古賀貴士, 佐藤史明, 杉江 聡,  
田中 学, 田端 淳, 中澤真司, 羽入敏樹, 岩本 毅(幹事), 平光厚雄(幹事)

欠席者 井上勝夫, 川井敬二, 坂本慎一, 佐藤 洋, 濱田幸雄(敬称略)

D. 提出資料

2016年度第4回音環境運営委員会議事次第

No.4-0 2016年度第3回音環境運営委員会議事録(案)

No.4-1 2016年度第4回環境工学本委員会資料

E. 議事記録

1. 前回議事録の確認

- ・修正事項: 2.(11) 研究競技会→研究協議会
- ・修正事項: 2.(12) 技術部設計競技→技術部門設計競技
- ・修正事項: 2.(20) 委員長選→委員長選挙

2. 環境工学本委員会の報告 (資料2-1)

(1)2016年度大会: 環境工学部門欠席者は2.3%(32名)で例年並みであった。発表総数は1,376題で前回より124題(約10%)の増加。

(2)2016年度大会: 若手優秀発表賞の顕彰比率は環境工学は12%。空気環境が18%と多かったが次回からは削減すること。なお、音環境は10%。

(3)2016年度大会: 研究懇談会: 「建築環境工学の国際的展開と建築学会の役割」の参加者数が36名と少なく資料についても158部残がある。

(4)2016年度大会: 環境工学の研究集会資料の無償公開については1年後となるが、PD「建築物の振動に関する居住性能指針」の改定にむけては売り切れのため3ヵ月後とする。

(5)第56回(2017年度)竹中育英会建築研究助成候補募集: 締切は3/31(金)17:00。

(6)2016年度調査研究委員会活動報告会: 環境工学は隔年のため今年度はなし。

(7)新英文誌検討TF報告: タイトルは「Japan Architectural Review」となった。出版社はWileyが候補。Editor-in-chiefは早稲田大学の田辺先生。2018年1月から年4回の発行を予定している。

(8)論文集・技術報告集の査読報酬廃止について: 新英文氏の刊行の財源とするため廃止の見込み。代わりに1ヶ月間J-STAGEの1年未満の非公開論文の閲覧権を付与の予定。

(9)2017年度技術部門設計競技: 「ユニバーサル社会を支える環境技術」の提出期限は6/15(木)。

(10)環境工学連合講演会: 建築学会からは三坂先生が講演する。今回は空衛学会が幹事。これまで幹事学会の中に運営委員会を組織していたが、次回からは学術会議の下に小委員会を作って経理を担当することとした。幹事学会は今までどおり持ち回り。

- (11)刊行委員会：村上先生から羽山先生に交代。
- (12)能力開発支援事業委員会：岩田先生から環境工学本委員会次期第一幹事に交代。任期は2017年6月～2019年5月。
- (13)2017年大会プログラム編成会議：4/20（木）13:00～開催。音環境では各小委員会から1人出席していただきたい。交通費が出ないので在京の方が望ましい。3/10までに出席者を佐久間主査に連絡いただきたい。
- (14)2017年度大会：研究協議会「安心・安全なエコスクールの構築」は2日目午前中となった。2日目夕方に環境工学の懇親会を予定。
- (15)2017年度大会：研究懇談会「ユニバーサル社会を支える環境技術－技術部門設計競技の応募作から見えてきた未来－」は初日午後開催。
- (16)2017年度大会若手優秀発表賞：音環境では実施要領に変更なし。ただし、採点の集計について、次回より3段階評価の点数配分を変更することを確認した。
- (17)AIJESのISO引用について：ISOの規定により参照文献は英語版が出版されていることが必要とのこと。
- (18)図書館デジタルアーカイブスWeb公開：音環境は音シンポジウム資料1号～71号が該当。執筆者への転載許諾は学会図書館が行うが、著者および連絡先リストは運営委員会が作成する。
- (19)情報保障に関する費用支援について：常設委員会で聴覚障害者への手話など情報保障費が必要な場合は3/30までに学術委員会に申請のこと。
- (20)次年度委員の委嘱・解嘱について：一覧表に山内氏が未記載であるので事務局に連絡する。
- (21)音シンポジウム関連：第76回「音響数値シミュレーションのプロセス」は46名。第77回「puセンサを用いた音響計測の現状と可能性」は47名それぞれ参加があった。
- (22)委員会予算について：今年度まだ残があるので、必要な委員会は申請可能である。
- (23)AIJ オンラインサーバ：廃止するWGについては3/17でフォルダが消去されるので注意してほしい。
- (24)環境工学委員会の次期委員長は、選挙により岩田先生（東海大）に決定した。

### 3. 審議事項

- (1) 図書館デジタルアーカイブスWeb公開について。
- ・資料公開条件として本運営委員会は「デジタル化を認め、資料公開は会員限定とする（会員には、「サインイン」して利用可とする）」と回答する。

### 4. 各小委員会・WGの活動報告

#### (1) 固体音小委員会

- ・前回は11/25、2/3に実施
- ・床衝撃音予測について引き続き実施中。次年度より主査を漆戸氏に交代する。
- ・WGにおいては引き続きデータを収集中。

#### (2) 集合住宅の遮音性能水準検討小委員会

- ・前回は12/9に実施、次回は2/24予定。
- ・鉄道騒音の評価に関して引き続き実施中。時定数をかけた後のサンプリング間隔によって最大値（max）が変わる可能性があり現在検討中。

#### (3) 建築音響測定法小委員会

- ・ 前回は 1/19 に実施。次回は 3/6 予定。
- ・ 2/2 開催のシンポジウムに向けた資料の読み合わせと発表内容の確認を実施した。当日は 47 名の参加者があり盛況であった。

#### (4)室内音響小委員会

- ・ 3月にスピーチプライバシーのシンポジウムを開催予定。
- ・ 測定法 WG では明瞭性のベンチマークについて検討中。
- ・ 子どものための音環境 WG は 3/8 に、中央大学にて日本騒音制御工学会 40 周年記念講習会「保育施設等と騒音問題との関わり～子どもの育ちに必要な音環境づくり～」の開催を企画・準備中。3/1 開催し、講習会の打合せと来年度の活動計画。

#### (5)音響数値解析小委員会

- ・ 前回は 1/10 に実施。次回は 3/14 予定。
- ・ シンポジウムの報告および次年度大会 OS の確認を行った。
- ・ 音響管によるインピーダンス測定データベースの整備を実施中。

#### (6)音環境規準検討小委員会

- ・ 前回は 2/8 に開催。次回 3/29 予定
- ・ 集合住宅以外の複合建物に関する検討を実施中。
- ・ 学校施設の音環境保全規準・設計指針改定準備 WG については 2 回開催。来年度秋に小委員会設置申請予定。

#### (7)企画・広報 WG

- ・ 前回は 1/11 に実施。次回は 4 月予定。
- ・ 建音検索のメンテナンスは終了。2015 年秋までのデータベースのアップロードを 1/12 で完了した。来期の主査は富高氏。2007 年の第 60 回音シンポの法規制、基準について最新版にするために内容を確認中。

#### (8)集合住宅騒音防止住まい方マニュアル刊行小委員会

より広い読者に読んでもらえるように技報堂にて内容を検討中。

### 5. 他学会・研究会の予定

#### (1)日本音響学会・建築音響研究会

- ・ 2 月休会，3/3 九州大

#### (2)日本音響学会・騒音振動研究会

- ・ 3/7 小林理研

次回以降予定 未定